

◆第13週（3月28日（月）～4月3日（日））

週明け早々の28日は、6年7ヶ月振りに1ドル125円の円安となった。輸入価格が上昇するだけでなく、ロシアのウクライナ侵攻によって、原油、鉱物、穀物の供給が滞ることで大きな影響が及んできそうだ。天然ガスや石油などのエネルギー資源だけでなく、小麦などは飲食業等にはかなりのダメージになる。

顧客企業には海外からの輸入商品を扱っている企業も複数存在する。物流やサプライチェーンに与える影響も大きいので、値上げ戦略なども行わざるを得ない。ただ、それぞれの顧客企業は付加価値の高い商品を取り扱っているため、少々価格を引き上げてでも価格と価値のバランスは見合っていると考えている。おそらく各社とも4月以降に価格改定を行い、利益計画の見直しを行うことになるだろう。ただ、困るのは、スタグフレーションになる可能性があることだ。

有事には円が買われてきたが、その理由は世界2位の経済大国で、かつ、経常収支の黒字国（今年1月から赤字）というバックボーンがあったからだ。いずれも下降している日本では、経済力も世界から低く見られだしている。今後は、国債暴落さえ有り得るのではないだろうか。

29日に、サッカーW杯カタール大会の1次リーグの組み合わせが決定した。E組に入った日本は、なんと、ドイツ、スペインの2強と同じゾーンらしい。11月23日の秋分の日に行なわれるドイツとの初戦が最大のポイントなので、予定を空けておくこととした。1勝1敗1分が最低条件だろう。

新型コロナウイルスの新規感染者数も増加に転換したらしい。第7波だが、それなりにかなり対応力がついてきたのではないかと考えている。

今週は来客打ち合わせの他に、スタートアップ企業の資本政策に関する情報交換や投資家の紹介、さらには、取引先銀行の支店長交代による挨拶や打ち合わせなどで都内をうろつく1週間となった。

4月末から5月初めに出版予定の『京都 老舗物語』の第2章は「石田梅岩物語」である。「梅岩物語」をまとめられた講談師の神田織音さんとランチミーティング。できれば、日本中の中小企業経営者やベンチャービジネス経営者に織音節の講談で聞いていただきたいと考えている。

春の甲子園は31日に大阪桐蔭の圧勝で終わる。昨年秋の神宮大会を含め新チームで全勝らしい。高校野球で全国大会でも地方大会でも敗けないというのは、よほどの強さなのだ。単に技術が上回っているだけでは全勝はできない。

技術以外の体力・精神力、さらには野球への取り組み、考え方などがチーム全体のDNAになっているのだろう。どこが大阪桐蔭を倒すのかも、今年の話になるのではないかと。プロ野球も開幕し、来週からメジャーリーグも始まる。

球春到来 心晴れる日々よ🍀

